

## 《平成19年11月議会における質問および回答の要旨》

### 質問 1. 建設業対策懇話会の提言を受けての具体的な施策について

\* 答弁（知事）

建設業は、公共事業費の抑制等に伴い大きな影響を受けており、そのため、去る10月26日に、雇用対策会議の中に設置した建設業対策懇話会の10項目の提言を受けたところである。

その提言を受け各項目ごとに具体的な施策を県、市町村あるいは商工会等と一緒にやっていくべきと考えている。そのため各地域の実情に応じた速やかなかつ具体的な施策を行うため、各市町村に対して建設業を含む協議会の設置を要請し、作業を始めているところである。

### 質問 2. 医師不足の根本的な原因とその対策について

\* 答弁（知事）

島根大学医学部の医局が県内の地域の医師の供給に大きな役割を果たしている。そのため島根大学において、医師が生涯を通じて長く島根の医療に携わるような仕組みの強化を検討している。

その一つは、医師あるいは研修医が島根大学の付属病院と県内の病院や診療所の間を交互に勤務する体制を作ることを計画している。

またもう一つは、離島・中山間地域の医療経験の豊富な医師を講師としてセミナーを行うプログラムをつくるよう検討している。

### 質問 3. 石見高等看護学院及び県立大学短期大学部看護学科卒業生の県内就職対策について

\* 答弁（総務部長・健康福祉部長）

現在島根県立短期大学部看護学科においては、隠岐地域推薦枠として4人、県内高校からの推薦として30人の推薦枠があるが、今後卒業後地域での勤務を確約する地域推薦枠の拡大を検討する。

石見高等看護学院においては、来年度より地域枠推薦を11名程度募集することとし、すでに15名の合格者を発表したところがあるので、今後のその地域推薦制度の状況を見ながら、拡大の必要性について検討していきたい。

### 質問 4. 糖尿病と歯周病について、およびその対策について

\* 答弁（健康福祉部長）

平成14年度の患者調査では、本件の糖尿病の罹患率は、全国で1位であり、その推計有病者数は男性3万人、女性2万人、合計約5万人と考えており、その治療および予防は、非常に重要と考えている。

また、糖尿病にはさまざまな合併症があり、その中で歯周病は6番目の合併症といわれ、また糖尿病と歯周病は相互に悪影響を及ぼしていると考えられる。

そのため、医師会、医科医師会等と連携し、職域や地域の健康づくりグループなどの出前講座などを通じて、予防・啓発に努めていきたいと考えている。